

議会活性化に向けて

12月定例会にて議会活性化調査特別委員会を設置、 タブレット型端末の試行開始・本格導入へ

福津市議会では、市民が期待する開かれた議会、身近な議会としてあるべき姿を目指している。さらなる議会の活性化に向けて、長年にわたる先例・慣例等を見直し、これからの議会に求められる議会のあり方を論議するために、12月定例会において議会活性化調査特別委員会を設置した。

また、タブレット型端末の試行が始まり、議会資料のペーパーレス化・議会運営の効率化によるコスト削減が期待される。会議システムと通信ツールなどのシステムを導入することにより、多角的な活用を図っていく。



議会活性化調査特別委員会

議会の活性化を図るための調査・検証および協議を行う特別委員会

【調査事項】

- ① 会派制について
- ② 一般質問および総括質疑のあり方について
- ③ 予算・決算両委員会における委員の構成と審査のあり方について
- ④ 参考人制度、専門的知見の活用等議会の権能、機能の強化・充実について
- ⑤ 委員の視察研修について
- ⑥ 全員協議会のあり方について
- ⑦ 福津市議会運営に関する申し合わせ内規の検証について

【設置期間】令和2年12月28日まで

【構成人数】7名



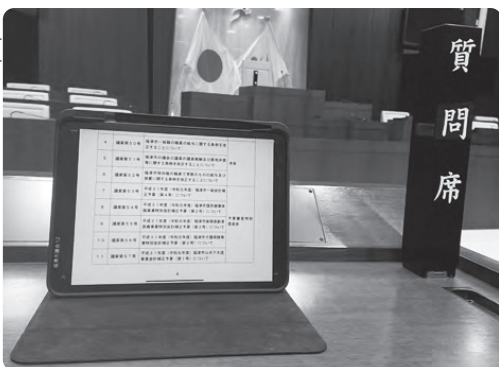
タブレット型端末導入の経緯

今年度4月に、タブレット型端末導入に向けた「議会ICT研究会」が立ち上がり協議を行った。研究会では使用基準の作成、公募によるプロポーザルを実施。機種とシステムの決定を行った。その後、2日間の議員研修を行い、12月定例会からの試行となった。6月定例会で本格導入予定。

タブレット型端末の活用

本会および委員会において、今後も議案や説明資料のペーパーレス化や議会運営・議案審議の効率的な情報共有が期待される。

同時に、議会活性化や見える化に向けて、運用規則の見直しや会議での活用を協議していく。



議会においても活用が期待される